

広報誌

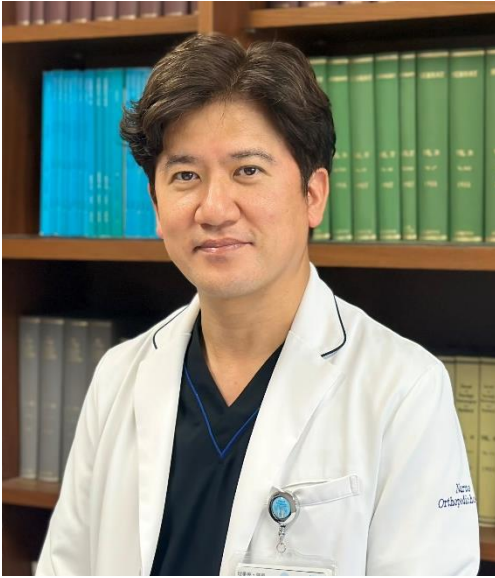
せいりょう

医療法人社団 誠療会 成尾整形外科病院



新年のごあいさつ

『躍』



理事長・院長
成尾 政一郎

新年あけましておめでとうございます。
旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り心より御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスが収束せず、急激な円安による物価上昇、ロシアによるウクライナ侵攻など海外情勢の変化など様々な局面に直面し、不安のうちに過ごした方も多いと思います。

その中でも全国旅行支援開始、大型イベントの再開、屋外ではマスクなしを国が推奨するなど新型コロナウイルスに対して徐々に緩和が進み、日常生活を取り戻す明るい兆しが見えてきています。

スポーツ界では熊本出身のプロ野球ヤクルトスワローズ村上宗隆選手のホームラン記録の塗り替え、サッカー日本代表のW杯での善戦など、国民が活気づく話題もありました。

また、コロナ蔓延により、院内外での職員同士のコミュニケーションの機会が少なくなることによる弊害を危惧しておりましたが、現場での混乱もなく通常診療を行うことができました。

秋からはコロナ禍で自粛していた職員全体朝礼を再開し、一堂に会した職員へ直接メッセージを伝えることができました。当院の掲げる「クレド」がしっかりと根付き、職員一人一人が考えて行動する習慣が定着し、「SDGs」活動も活発になりました。今後も職員のモチベーションを高め個々の飛躍、知識向上のためにも継続した支援を行って参ります。

2023年癸卯(みずのとう)は、これまでの努力が花開き実り始める年です。穏やかで温厚な卯は、冬の門が開くことを連相させ「飛躍」「向上」を象徴するそうです。また、癸は春間近でつぼみが花開く前を意味し、植物の成長という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年といわれています。

当院の専門分野である脊椎外科・関節外科の領域における知見・治療方法において、その進化は目覚ましいものがあります。当院も積極的に新たな治療法を取り入れ、新たな機器の導入やスタッフの充実を図ることで患者様の医療サービス向上のため、尽力していく所存です。

当院に関わる全ての皆様が安心して心地よさを感じる環境を職員と共に構築し、皆様に選ばれる病院づくりに邁進致します。皆様のご健康、ご多幸を祈念し念頭の挨拶と致します。本年もご指導、ご鞭撻のほど どうぞ宜しくお願い致します。

『縁』

「コロナ禍で『縁』の大切さに気づく

～伝えたい感謝の想い～」

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今年もコロナ禍で迎える新年・・・。

コロナ禍の今だからこそ「金持ち人生」よりも、人と人との「縁」を繋ぎながら生きる「人持ち人生」のほうが大切で、数倍面白いと感じています。

私は、今年でこの世に生を享けて56年、社会人として医療機関に就職して34年、これまで沢山の「縁」をいただきました。

様々な「縁」は周囲に存在し、その「縁」の積み重ねで今の自分が存在しています。

特に人と人との「縁」ほど強烈で人生を左右するものはないと思います。

2015年11月に成尾政一郎理事長との強烈な出逢いがあり、その「縁」により26年勤務した前職を退職し、当院で新たにチャレンジすることを決断しました。

私の人生を左右した大きな「縁」でした。

成尾理事長との「縁」はもちろんのこと、先祖・家族、恩師・学友、職場の仲間・関係者など、生まれて出逢ったすべての方々からいただいた「縁」のおかげで、自分の「生き方」に自信を持たせてくれています。

また当院においては、クレドに掲げた「共に働く院内の仲間」、「当院をご利用いただいている患者様」、「日頃から支えていただいている地域社会」、

「当院のパートナーである取引業者」および連携させていただいている病院や診療所・介護施設等との関係は「縁」そのもので、たくさんの方々に支えられて今の当院が存在しています。

これからも「新たな縁」、「懐かしい縁」、「嬉しい縁」、「偶然の縁」、「必然の縁」、そして「不思議な縁」との出逢いを期待しながら「縁」を大切に育てていき、当院および職員にとって「感謝」と「感動」の多い一年にしたいと思っています。

世界中で良「縁」が拡がり、穏やかで幸多き年になりますよう心から祈念申し上げます。



事務局長・事務部長

西村 俊也

看護局長・看護部長

辻口 志穂



『繋』

2022年も前年同様コロナ禍での制限を強いることが多く、患者様をはじめご家族の皆様、職員、そして職員のご家族の皆様には多大なご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

昨年、当院看護部では、より質の高い看護体制を確保するため専従の看護師による看護部教育室を新設しました。整形外科専門病院である当院に合わせた教育体制への見直しを行い、看護職が十分に能力を発揮して働き続けられる環境に向けて活動しており、これらが充実することで患者様の安全・安心できる看護の提供に繋がっています。

2023年看護部は、「ONE PROJECT ～その人らしさを大切にした看護の追求～」を目指す姿として、「1」にこだわる看護「患者1人1人が安全で安心できる質の高い看護を提供」「1床を意識した病床管理」「働きやすさNO.1」

「一生感謝」を目標に掲げ、時代の変化に対応できる持続可能な組織運営を行い、選ばれる病院を目指します。看護職の看護実践能力を保持し、個人の成長と職業上の成熟を支援するとともに、継続した教育体制を充実させることで、やりがいを持って働き続けられる職場づくりに取り組みます。

近年、高齢化の進展や単身・夫婦のみの高齢者世帯の増加に伴い、高齢者の生活支援のニーズは高まり、求められる支援の内容も多様化しています。地域全体で患者を支えるためには、医療の機能分化が重要となり、それらが連携して互いの特長と不足を補い合いながら医療を提供することで、最適な医療の実現が望まれます。当院は整形外科病院として、これらを支える地域の健康づくりに取り組み、健康寿命の延伸に努めて参ります。

本年も変わらぬご指導、ご支援のほど、よろしくお願い致します。

2023年の抱負

普段は看護助手として勤務するフォレストリーヴズ熊本に所属するお二人。
今年成人を迎えたばかり、2023年の抱負を聞きました。

祝 成人



大谷 芽衣
(おおたに めい)

社会人3年目となりました。この2年間は自分を成長させてくれる貴重な2年間だと感じました。今年20歳になり、学生の頃と違い物事の受取り方、考え方、人との接し方、大人としての自覚が芽生え、人の成長はすごいと改めて実感しました。たくさんの方々とコミュニケーションを取りながら働いてうれしさと楽しさを感じられる時間が増えました。今年は大人の仲間入りをしたので、素敵で立派な女性になれるようバレーボールでも、仕事でも常に笑顔で色々なことに挑戦する気持ちを忘れないよう頑張ります!!



12月に悲願の1勝。
当院の4名の選手が所属しています。

(チームTwitterより)

祝 成人



中條 菜津紀
(なかじょう なつき)

今年度は患者さん、スタッフからの信頼を得て少しでも病院に貢献できるようにしたいと思います。また、バレーボールでも応援してくださる方々に感謝し、恩返しができるよう結果を残していきたいと思います。仕事、バレーを通して人として成長出来る1年にしたいと思います。

成人おめでとう!
これからも宜しくお願いします。



FOREST LEAVES KUMAMOTO



昨年入職し、約半年・・・当院の印象と、これからの抱負は？



事務部 総務課
高田 和弥
(たかだ かずや)

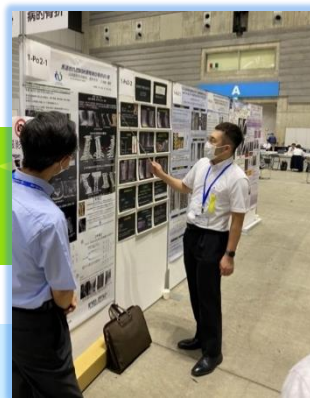
昨年6月より事務部に入職しました。現在は施設課で設備等の点検や修理、患者様の送迎等、病院を利用する患者様、業者様またスタッフと多く関わる業務に携わっています。院内では他部署の方も明るく挨拶を返してくださり、上司も面倒見の良い方なので職場環境には特に恵まれていると感じます。

不慣れなこともありご迷惑をお掛け致しますが、ここで出会う患者様やスタッフとのご縁を大切に、病院とともに私自身も成長できるよう一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



2022年の振り返り

学会発表



田畑 聖吾	第48回日本骨折治療学会	見逃されたDISH頸椎脱臼骨折の1例
田畑 聖吾	第29回日本脊椎脊髄神経手術手技学会	ビスフォスフォネート長期内服患者に生じた非定型椎弓根骨折の2例
田畑 聖吾	第10回九州MIST研究会	重症化膿性脊椎炎に対してMISTを用いた治療
田畑 聖吾	第450回熊本脊椎外科研究会	非定型抗酸菌性脊椎炎の1例
田畑 聖吾	第100回熊本整形外科医会	見逃されたDISH頸椎脱臼骨折の1例～見逃さないためのABCD～ Bertolotti症候群についての検討
田畑 聖吾	第101回熊本整形外科医会	腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法の治療成績 重症化膿性脊椎炎に対してMIST(Minimally Invasive Spinal Treatment)での挑戦
坂本 祐史	第37回日本脊髄外科学会	当院における椎間板内酵素注入療法の治療成績
坂本 祐史	第450回熊本脊椎外科研究会	手術加療を行った脊髄硬膜下血腫の1例
尾崎 友則	第30回日本腰痛学会	腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法の短期成績
尾崎 友則	第30回日本腰痛学会	再発腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法の短期成績
加田 真	第10回日本運動器理学療法学会	前十字靭帯損傷者の予期しない後側方カッピング動作戦略の特徴
松本 拓哉	第25回熊本県理学療法士学会	右脛骨腓骨遠位端骨折術後の一症例
中村 徳孝	第25回熊本県理学療法士学会	人工膝関節全置換術後患者の杖歩行獲得に影響を与える術後因子の検討
田中 貴代香	第25回熊本県理学療法士学会	当院における椎間板内酵素注入療法の効果と運動療法の展望
中田 真悠子	第25回熊本県理学療法士学会	人工股関節全置換術予定の症例に対する術前理学療法は術後の経過に影響を与えるか
松尾 信行	事務長会システム担当者会	サイバー攻撃による医療機関被害の現状と対策についての考察と取組
水本 亜由美	日本医師事務作業補助者協会 第11回全国学術集会	電子カルテのリプレイスに伴う現状と今後の課題

4 病院研修

「With コロナにおける令和4年度診療報酬改定への対応と今後の戦略」

3年ぶりに対面で開催された4病院研修（昨年までは5病院での研修でしたが今年4病院での開催となりました）。今回は大分の川島整形外科病院に集結し、各部門での討議、全体発表・討議が行われました。

全体テーマを基に各部門テーマを設定し、日常業務での課題・問題点など有意義な意見交換ができました。

昨年まではオンラインでの開催でしたが、やはり直接顔を合わせて対話の方が会話も弾み、色々な話（裏事情など）が聞けて参考にできることもたくさんありました。“With コロナ”でのそれぞれの戦略、これからの各病院の躍進に注目です。



↑ こちらは地域連携室の金子看護師の発表の様子です

↓ 他部門からも多くの質問があり、活発な討議となりました



2022年の振り返り

水上アスリート合宿



毎年夏休み期間に高校陸上部の合同合宿が球磨郡水上村で行われています。この合宿では、スポーツアスリート支援を柱とする協定を結んでいる熊本保健科学大学と水上村によるメディカルサポートが実施されました。

そこへ当院も医療機関の立場として参加し、医師・看護師によるメディカルチェック（エコー検査など）、理学療法士によるストレッチ・トレーニング指導などを行いました。



エコーでメディカルチェックを行う林田医師

運動器認定理学療法士を取得しました。



大津 知昌
(おおつ ちあき)



山道 渡
(やまみち わたる)



桑鶴 孝一郎
(くわつる こういちろう)

健康運動指導士

リハビリテーション科助手の大村さんが健康運動指導士の資格を取得しました。理学療法士とともに、運動指導を行っています。

リハビリテーション科
大村 和香子
(おおむら わかこ)



他の部署の職員も
たくさん資格を取りました！
今後の「せいりょう」で
紹介していきます。

昨年新たな資格を取得した職員を一部ご紹介

薬剤科

尾崎 正幸

(おざき まさゆき)

スポーツファーマシスト
(JADA) 取得



薬剤科

弘津 祐実

(ひろつ ゆみ)

認定薬剤師 取得



地域連携室

片桐 晶子

(かたぎり あきこ)

公認心理士 取得



「大豆ミート」メニューへチャレンジ



今話題の「大豆ミート」を使用したキーマカレーにチャレンジしました。当院の給食委託業者様では、医療機関で大豆ミートメニューを提供したのは南九州地方で初めてだそうです。

大豆ミートは乾燥した状態なので、水でふやかし、茹で、絞り、炒めての下準備をしてからカレー制作に移ります。大豆独特の匂いを取るために、調理師さんが冷たい水と闘いながら、何回も水洗いをしていただきました。絞る作業もとっても大変そうでした！

(調理方法の指導を受けた人だけが扱えるそうです)

これからも患者様に満足いただける食事が提供できるように工夫していきたいと思えます！

患者さま、職員から・・・

「普通のキーマカレーに劣らないおいしさだった」
「肉嫌いだがこれならば食べられる」
「ほかのメニューも食べてみたい」

などのご意見頂きました



クラーク 道倉さん



趣味でアクセサリ作りをしています。いろんなパーツを組み合わせたリ、レジン硬化してイヤリングやピアスを作っています。どんな形やデザインにするか考えながら作ることが楽しいです。他にもビーズを刺繍したり、ドライフラワーを入れたりして様々なアクセサリを作っています。パーツや材料は手芸屋さんや100円ショップにも販売してあるので是非作ってみてください。



総務課 本多さん



ぴと かがやき職員

今も職場で履いている私の靴は、5年前に父親に買ってもらったものです。その頃、私は体調が最悪で、寝てばかりいる日々でした。「前向きに頑張っていこう」と思えるように、この靴を買ってもらいました。まず、買ったばかりの靴を履き、朝、歩くことから始め、次にバイトをしようと思ひ、チャレンジしました。その後、熊本の専門学校に行き、一人暮らしにもチャレンジしました。そして現在、成尾整形外科病院に勤めさせていただき、これまでの間、ずっとこの靴は私と共にあります。雨の時も晴れの時も雪の時もずっと履き続けた「マイ・シューズ」です。今の職場でもいろいろなことにチャレンジしながら、これからもマイシューズと思い出を作ってきてきたいと思います。

外来担当表 (2022年8月～)

	月	火	水	木	金	土					
						1週	2週	3週	4週	5週	
午前		成尾政一郎 (完全予約制)		成尾政一郎 (完全予約制)	成尾政一郎 (完全予約制)						
	知花 尚徳		知花 尚徳		知花 尚徳		知花 尚徳		知花 尚徳		
		林田 実		林田 実	林田 実		林田 実		林田 実		
	山城 和馬		山城 和馬	山城 和馬		山城 和馬		山城 和馬			
	田畑 聖吾		田畑 聖吾	田畑 聖吾						当日担当医	
	坂本 祐史	坂本 祐史	坂本 祐史			坂本 祐史		坂本 祐史			
			尾崎 友則		尾崎 友則		尾崎 友則		尾崎 友則		
	友田 邦彦			友田 邦彦	友田 邦彦						
	上園幸作 (内科)										
	野上 俊光 (漢方内科)										

	月	火	水	木	金	土				
						休診				
午後	知花 尚徳	知花 尚徳	林田 実	知花 尚徳	山城 和馬					
	友田 邦彦	尾崎 友則			友田 邦彦					
	板井 佳代 (禁煙外来)									



〒862-0958 熊本県熊本市中央区岡田町12-24
TEL 096-371-1188 FAX 096-366-9923

